

すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館 〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地
Tel : 0790-82-0874 Fax : 0790-82-0313 E-Mail : toshokan@town.sayo.lg.jp



Book Review

図書館司書おすすめの一冊



『給与も賞与も、社員みんなで決めてます』

—働きがいNo.1企業になった小さな会社の物語—

新免玲子／著 あさ出版 2019年

社員 80 人の IT 企業アクロクエストテクノロジーでは、全員で自分たちの給料を決めている。本書は、なぜそんなことができるのかという経営者たちの疑問に答え、副社長が執筆したものである。

1991 年、社員 5 人でマンションの一室から始まった。社長が独断専行のトップに失望し前職を退職した経験から、何でも社長が決める会社にしたくないとつくられたのが、2 本柱の 1 つ、社員全員で給料を決める「給与査定システム」（全体査定）である。5 つのステップを踏んで行われ、その中のコメント発表会では全社員が全社員について実名で「見習いたい点」「改善してほしい点」を記入したコメント表に基づき、率直な意見が出される。批判的な意見もあるが、査定会は自分を見つめなおす絶好の機会となるそうだ。2 つ目の柱が「全体会議」で、重要課題からレクリエーション企画まで議題はなんでもあり、上司部下の立場に関係なく全員が自由に発言でき、決定したことは即座に実施される。

創業2年目から、組織風土に合わない社員を教育するのは難しいと、価値観の受け入れやすい新卒、社風に合う人材を採用していった。社員が自由に意見を言える会社をつくりたいという強い思いが独自のシステムを作り、その思いに共感できる社員が集まって現在の会社となったのがわかる。日本にこんな会社があることに驚きを感じる。（尾崎）

5月 皐月

としよかんカレンダー

6月 水無月

日	月	火	水	木	金	土
			1 天皇即位の日	2 国民の休日	3 憲法記念日	4 みどりの日
5 こどもの日 おはなし会 & 伝承あそび	6 月曜休館日	7 振替休館日	8 0・1歳 わらべうたとえほん 10:30~	9	10	11 おはなし会 14:00~
12 おはなし会 14:00~ 14:30~	13 月曜休館日	14	15	16	17	18 おはなし会 14:00~
19 おはなし会 14:00~ 14:30~	20 月曜休館日	21	22	23	24	25 おはなし会 14:00~
26 おはなし会 14:00~ 14:30~	27 月曜休館日	28	29	30	31 館内整理日	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

■印の日は休館日です。

5月7日は振替休館日です。
5月31日は館内整理日です。

開館時間は
午前10時から午後6時です。



『 魔女のむすこたち 』

カレル・ポラーチェク／作
小野田澄子／訳
岩波書店 2018年



名高い魔女バーバラばあさん(150歳)の息子、ふとっちょのエドダント(68歳)と、やせっぽちのフランチモル(66歳)は、法律によって小学校に通うことになりました。

ある日、学校で遠足に行くことになった兄弟は、バーバラばあさんの魔法のほうきをこっそり持ち出して校長先生たちを置いたまま、同級生たちを乗せ出かけました。ところが、途中で嵐にあい、ほうきが故障して深い森に不時着。夜の森でやっと見つけた家は山賊の住処でした。最初は気前よく山賊に迎えてもらい楽しく過ごしていた子どもたちでしたが、残してきた親のことが気にかかり、帰ることを伝えると、山賊はみんなを牢屋に閉じ込めてしまいました。

その後も、失踪したフランチモルを探したり、人と犬が逆転している町や人食い王がいる国へ行ったりと様々な冒険に遭遇します。

魔女の息子なのに少ししか魔法が使えず、知恵と話し合いで奇想天外な冒険を切り抜ける陽気な兄弟が軽快に描かれ、行く先々で出会う人たちはユーモアがあり、お話に引き込まれます。(中尾)

『 ごきげんならいおん 』

ロジャー・デュボアザン 絵
ルイーズ・ファティオ 文
むらおか はなこ 訳
福音館書店 1964年



フランスの公園の真ん中にある動物園に住むらいおんは、いつもごきげんでした。飼育係の息子フランソワや町の人たちが、らいおんの前を通るたびにあいさつをしてくれるからでした。

ある日、戸が開いていたのでいつも来てくれるおかえしにと、町の人たちに会いに出できました。ところが、いつもお行儀よくあいさつをしてくれる人たちが、自分を見ると倒れたり、叫んだり、逃げだしたりします。一人くらい逃げたりしない友だちがいないものかと歩いていると、消防車が大きな音を鳴らし、たくさんの消防士がホースを持って近寄ってきます。何がおこるのか見物しようと腰をおろしていると、後ろから「やあ」と学校帰りのフランソワがやって来たので、一緒に公園まで帰って行きました。

黄色とオレンジを基調としたページと白黒のページが交互に繰り返され、奇妙な声をあげて驚きあわてる人たちや、何があっても優しく穏やかならいおんが線で丹念に描かれています。やっと逃げ出さないで声をかけてくれる友達に会えたららいおんのとてもごきげんな表情に満足します。ごきげんならいおんシリーズの1巻目。(馬場)

あそばせ隊 おはなし会
毎週土曜日 / 14:00 ~ 14:30
幼児・小学生対象

図書館 おはなし会 毎週日曜日
小さい人 (5歳以上) / 14:00 ~ 14:30
5月のおはなし「オオカミと七匹の子ヤギ」
『グリム童話集(上)』岩波書店
大きい人 (小学3年生以上) / 14:30 ~ 15:00
5月のおはなし「小石投げの名人タオ・カム」
『子どもに語るアジアの昔話 2』こくま社

※いずれも図書館おはなしコーナー 事前申し込み不要



編集後記

令和初めての図書館通信をお届けします。平成13年2月の創刊以来初めて、改元に併せて紙面を刷新しました。変わらなないのは、図書館運営の理念です。生涯学習の拠点として、『暮らしの中で役立つ図書館』であり続けることです。「本は手でさわられるけれど、本に書いてあるなみは手でさわれない。私たちはそれに心でさわるんだ。本を読んでいると、心がどんどん大きくなる。深くなる」：創刊号の編集後記で紹介した詩人・谷川俊太郎の詩を再び載せました。心にも栄養が要ります。